

## ■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
事業利用による支援企業の成果 売上・営業利益・雇用者数の改善 (DI) (改善したと回答した企業の割合－ 悪化したと回答した企業の割合)	件	売上高変化DI 20 損益変化DI 20 従業員数変化DI 10	売上高変化DI 6.1 損益変化DI △1.5 従業員数変化DI 9.9

<b>未達成の要因と分析</b>	R 1年度は、府内D I 値がなかったため、暫定的に当財団の前年度水準をベースに目標値を設定していた。この場合、経済の影響を受けやすいため、R 2年度からは今回の目標設定のとおり変更を予定し、審議会でもご報告していたところ。R 1年度は、財団の各事業を順調に進めてきた中で、3つのD Iとも目標未達となった点については、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスなどの影響と分析している。
------------------	---

<b>今後の改善方策</b>	R 2年度は府内D I 値を大阪府で算出し数値の把握が可能となったため、当財団のサービスを利用した企業が成果を出し、府内D I 値を上回ったD I 値となるよう目標設定している。そのため、例えば、経済状況が好転し、府内各企業の売上・営業利益・雇用者数が軒並み改善し府内D I 値が上昇するような場合にも、それに上乗せして目標設定している当財団の目標値も連動して上昇し、ハードルが上がる仕組みにしている。
----------------	---

〔2〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
国際ビジネス支援（海外取引相談、商談等）件数	件	1,690	1,656

<b>未達成の要因と分析</b>	コロナウイルス感染症の拡大による影響で、令和2年3月に出展を予定していた展示・商談会（中国華東輸出入商品交易会）が中止になったことにより、商談件数が減となり目標を多少下回った。
------------------	--

<b>今後の改善方策</b>	今後は、オンライン化による国際ビジネス相談、Web展示商談会等への出展やビジネスサポートデスク等の企業へのさらなる利用促進に努めるなど、目標達成に向けて積極的な取り組みを進める。
----------------	---

## ■ 目標値未達成の要因について

〔3〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
一般正味財産増減額 (事業実施用資産・納税準備積立 資産・貸倒引当金の増減額を除く)	千円	0	△ 18,005

<b>未達成の要因と分析</b>	新型コロナウイルス感染症拡大による利用キャンセルが相次ぎ、展示場収益等が40百万円以上減少したことによるもの。
<b>今後の改善方策</b>	令和2年度も4月5月は大阪府からの休業要請により展示場収益額が殆どなく、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを遵守しつつ、顧客の獲得に努めることにより、収益額の確保を図る。